

五月 十九日 〇時〇〇分～〇時〇〇分

P. 38 「春のうらみね」

(2) 俳句や短歌を書きなさい。

木立より 雪解のしづく お落るつ音

聞きつつわれは 歩みをとどむ

斎藤 茂吉

啓蟄の 虻はや 花粉まみれかな

星野 立子

掘り返す 塊光る 穀雨かな

西山 泊雲

(3) 俳句や短歌を作ろう。

みんなの力作を 楽しんでいきます。

木々の枝から雪解けのしずくがしまりに落ちる音がする。私は歩くのをやめて、その音に聞き入ってしまった。

冬ごもりの虫たちがやっと起き出した。 ~~蜂~~ 虻はやいそへ花々の間を忙しく飛び回り、早くも花粉まみれとなっているなあ。

（畑で）春雨でうるおった土・を掘り返すと、土の塊（うちね）が美しく光っている。穀物のうるおった季節（~~季節~~）がながやってきましたなあ。